

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	かもん丸		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 15日		～ 令和8年 1月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 15日		～ 令和8年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご家庭の事情に合わせて柔軟にお子さんを受け入れる体制が出来ている。	通常の開所時間の前後にも対応できるように職員の配置をしている。また、他事業所が閉所している際や祝祭日等も開所している。不登校支援にも対応している。	保護者の要望を聞く機会を増やしていく。
2	保育士、教員、心理士、看護師等の多様な職種が在籍している為、お子さんのアセスメントを様々な視点から行うことが出来る。また、アセスメントに基づいて様々なアプローチをすることが出来る。	各お子さんに必要な支援内容(相談、学習、幼児期の発達等)を支援会議等を通して検討し、それに基づいて支援にあたっている。	主に個別対応として取り組むことが多いが、集団活動の機会を増やし、お子さん同士の交流の機会も増やしていきたい。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練など実施して、参加したお子さんの連絡帳にはその内容を記載しているが、全保護者へは伝わっていない。	行事内容はその日利用したお子さんの連絡帳に記入することが多く、当日参加できていないお子さんの保護者へは伝わっていない。	必要な情報は全家庭に伝わるように、連絡帳以外にも、SNSや紙面などを通じて発信していきたい。
2	バリアフリーに対応できていない箇所がある(車いすのまま入室するためのスロープやトイレの手すり)。	完全バリアフリーにはなっていないが、必要な際には利用児の特性に合わせた支援方法で対応している。	物理的に完全バリアフリーは難しいため、職員の配置を考えて個々に合わせた支援を行い引き続きお子さんが安心して過ごせる環境を作っていく。
3	保護者向けの講座を開催したが参加されたご家庭が少なかった。父母の会(保護者会)は実施できていない。	講座についての情報発信が足りなかった。家族支援は個別に対応している。	講座の開催等ご父兄の参加を積極的に募っていくように情報を共有していく。引き続き個別対応していくことに加え、父母の会設立に向けてご家庭と連携し、話を深めていきたい。